

## ～飛騨市民カレッジ開催レポート 第11号～

2022年10月24日(飛騨市民カレッジ Facebook ページより)

【～脇道それでもいいじゃない。直感のお散歩マップづくりのススメ～「歩く人。」になろう】

去る10月23日(日)に帝京大学 医療技術学部教授 佐藤 真治 先生をお招きし、今年度後期の一本目の講座を開催しました！この講座では、タイトルにもあるとおりチームに分かれて「歩く」時間を取り入れて「直感のお散歩マップ」を作成しました。

先生から冒頭に「歩くと脳が拡張する?!」や、医療技術から見た「歩くことと寿命の関係性」、東北や熊本など被災地へ入り見えてきた「歩く」と「つながり」「地域への愛着」との関係性など、歩くの世界に引き込まれていきました。その後、約90分間チームにわかれて地図を持ち「直感」に従って、写真を撮りながらまちなかを歩いていきました。



「え！こんなところにぬいぐるみあったの!？」  
「干し柿見つけるとなんだか嬉しくなる」  
「細い道見つけると直感で通りたくなるみたい私」  
「ここ、昔はね～こうやって見ると思い出すな」  
などなど、いつも暮らしている町の中を直感を頼りに歩くことで新発見・再発見がいくつもありました。そして、「歩く」から戻った後はチームごとに直感的

マップを作成しました。そのマップを聞きながら先生が「マインドマップ」に落とし込み、みなさんの「町歩き」と「マップづくり」からどんな感情が生まれたのか？を可視化していただきました！

最後に先生から「感情の記憶」と「まちが私たちの存在の保証者になる」という講話をいただき、自分達の町歩きを振り返りながら、さらに学びを深めることができました！佐藤先生、ご参加いただいた皆様ありがとうございました！

次回は、12月3日(土)10:00~12:00 より

風土形成事務所/東京大学空間情報科学研究センター 廣瀬 俊介 氏による

『「郷土」とは「風土」とは？その本質を探る』を開講いたします！こちら現在も、申込受付中となっております！是非、お申込みください！

